

## 4 評価の活用について

### ● 結果と考察

評価をどのようなことに活用しているか。

(質問14)

小・中学校とも約7～8割が、「学習意欲の向上」「計画の修正」「指導の改善」「カリキュラム全体の見直し」に活用

学習の評価結果を「通知表や指導要録への記入」に活用している学校は、小・中学校とも100%である。また、「活用している」との回答が多い項目を挙げると、

児童生徒の学習意欲の向上  
 (小学校83%、中学校85%)  
 次時の準備や指導方法の改善  
 (小学校80%、中学校76%)  
 単元計画の修正や改善  
 (小学校87%、中学校65%)  
 カリキュラム全体の見直し  
 (小学校69%、中学校71%)

である。約7～8割の学校で、形成的評価やカリキュラム評価に活用している様子が分かる(図14、15)。

これらに対し、「地域の人々や外部協力者への説明」に活用している学校は、小・中学校とも44%である(図14、15)。

先の評価方法と同様に、外部に向けて情報を発信するための環境や手段、方法がまだ整っていない様子がうかがえる。

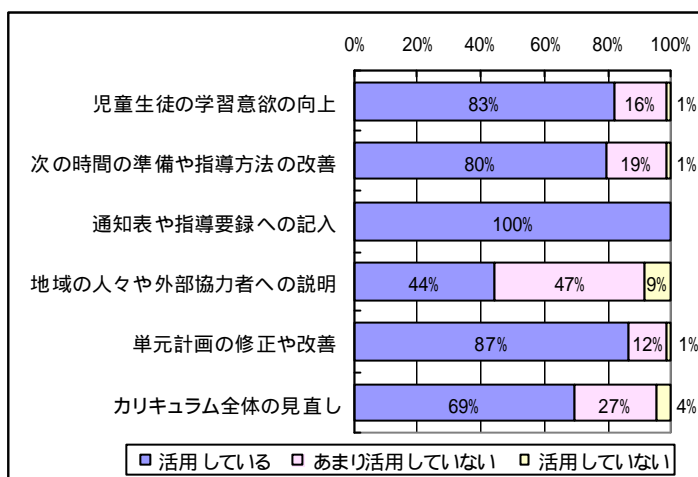


図14 評価の活用(小学校)

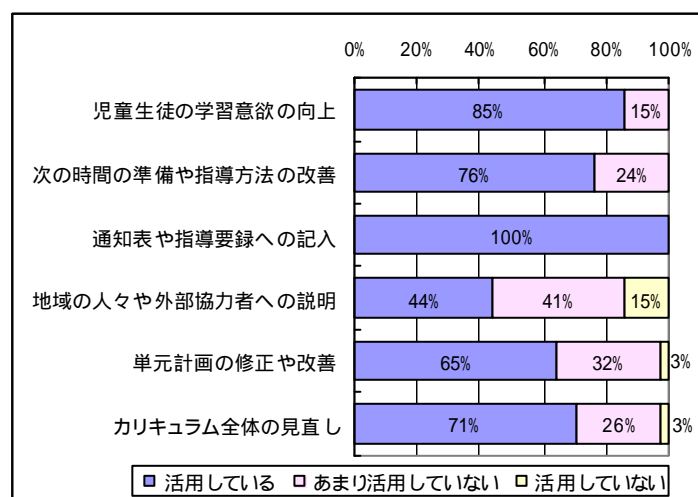


図15 評価の活用(中学校)

### ● 課題

児童生徒の学習評価を単元計画の修正や改善、カリキュラム全体の見直しに活用する。学習成果の発表とともに児童生徒の学習評価についても地域の人々や外部協力者に説明し、一層の理解と協力を得るように努める。